



令和7年3月13日
 株式会社 中国銀行

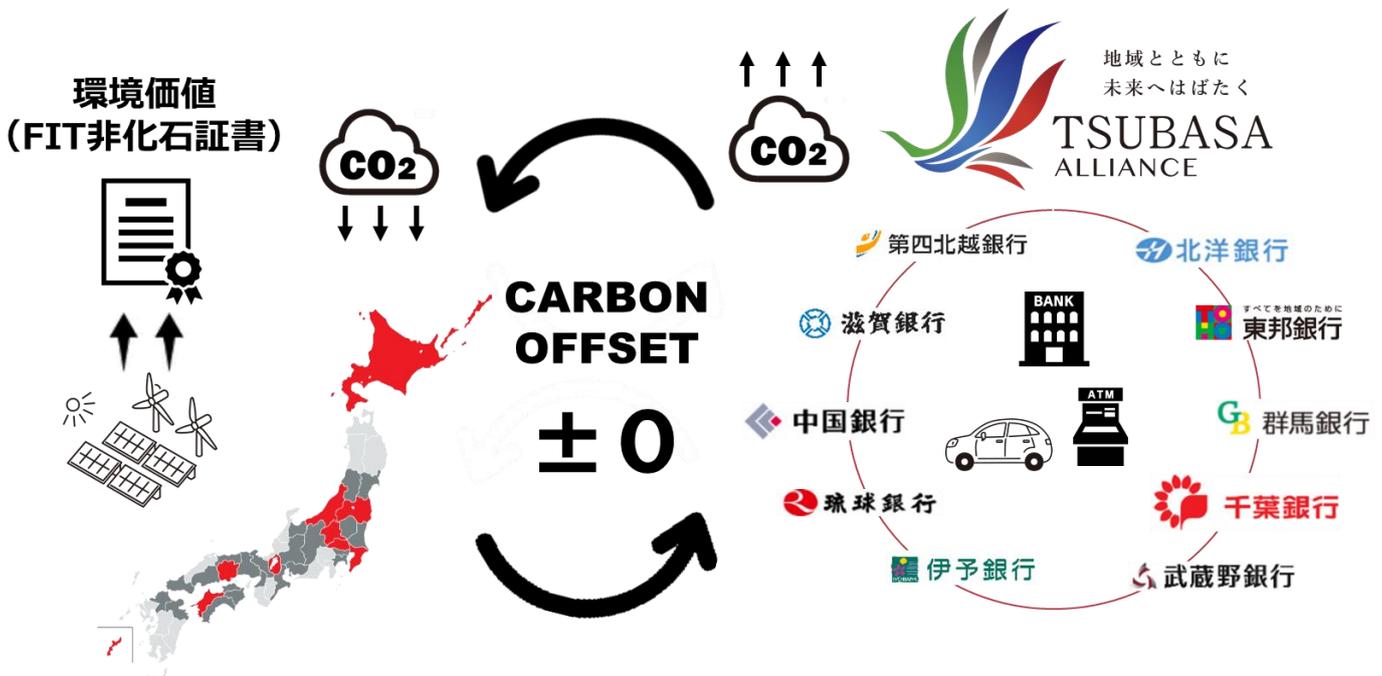
T S U B A S Aアライアンスによる非化石証書の共同購入について
 ～地域で生まれた環境価値を地産地消～

中国銀行（岡山市北区丸の内一丁目15番20号 頭取 加藤 貞則）は、令和7年3月13日（木）、「T S U B A S Aアライアンス^{※1}」参加行と共に、各行の営業エリアで創出されたF I T非化石証書^{※2}を合計500万kWh購入しました。

購入した非化石証書は各行の電力使用によるCO₂排出のオフセットに利用され、参加行全体で約2,100トンのCO₂排出量削減に貢献し、これはATM約5,000台分の年間CO₂排出量に相当します。

本件は、各行の営業エリアで創出された「環境価値」の地産地消のほか、再エネ価値取引市場の活性化およびF I T非化石証書の普及促進を目的に、「T S U B A S Aアライアンス」参加行の連携施策として実施しました。

今後も、当行および「T S U B A S Aアライアンス」参加行は、地域のカーボンニュートラルをはじめとした環境・社会問題の解決に取組み、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。



- ※1 千葉銀行、第四北越銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行、琉球銀行、群馬銀行の10行が参加する地銀広域連携の枠組み。
(URL : <https://tsubasa-al.co.jp>)
- ※2 FIT制度（再生可能エネルギーの固定価格買取制度）が適用される非化石電源（太陽光・風力・バイオマスといった再生可能エネルギー等の発電時にCO₂を発生しない電源）で発電された電力の「環境価値」部分を証書化したもので、電力使用によるCO₂排出量の削減に利用できる。なお、今回は千葉銀行の電力事業子会社「ひまわりグリーンエナジー(株)」を活用し購入。

以 上